

平成22年度「土砂災害防止月間」実施状況

(参考)

土砂災害防止「全国の集い」の開催(H22.6.9広島市)

土砂災害対策の必要性や今後の方向性等について住民の理解と関心を深め、人命、財産の被害を最小限にすることを目的に、全国から約1,400人が参加し開催。



シンポジウムの様子

災害時要援護者の把握及び説明会等の開催

社会福祉施設などの災害時要援護者関連施設に対して、ハザードマップ等による情報提供や土砂災害に関する説明会を各地で実施。(約5,400施設にて実施)



災害時要援護者施設への説明
(青森県むつ市)

第5回「土砂災害・全国統一防災訓練」(統一日H22.6.6)

統一訓練当日は、30道県(他16都府県は別途実施)、245市町村、約21,000人が参加。

災害時要援護者関連施設においては全国20の施設で避難訓練等を実施。



施設内の避難場所への移動訓練
(山口県下関市)

砂防設備等の点検

砂防施設等の定期点検及び安全利用に資する点検を住民、砂防ボランティア等の市民団体と連携し、約10,600施設の点検を約8,300人が参加して実施。



砂防ボランティアとの危険箇所点検
(大阪府富田林市)

土砂災害防止講習会・講演会・見学会等の開催

全国222会場で約35,700人が参加して、土砂災害防止についての認識を深めてもらうための講演会・講習会・見学会等を開催。



土砂災害防止講習会
(栃木県鹿沼市)

教育関係者等を対象とした講習会・見学会等の開催

教育関係者を主な対象とした講演会・見学会を各地で開催し、全国89会場で約6,000人の小中学校教員、児童・生徒等が参加。



小学生への現地砂防教室
(富山県立山町)